

# 書籍のご案内

## 詳解 非破壊検査ガイドブック

発行：(一財)日本規格協会  
編集委員長 大岡 紀一  
体裁：A5版, 342頁  
定価：本体 4,200円+税 (送料別)

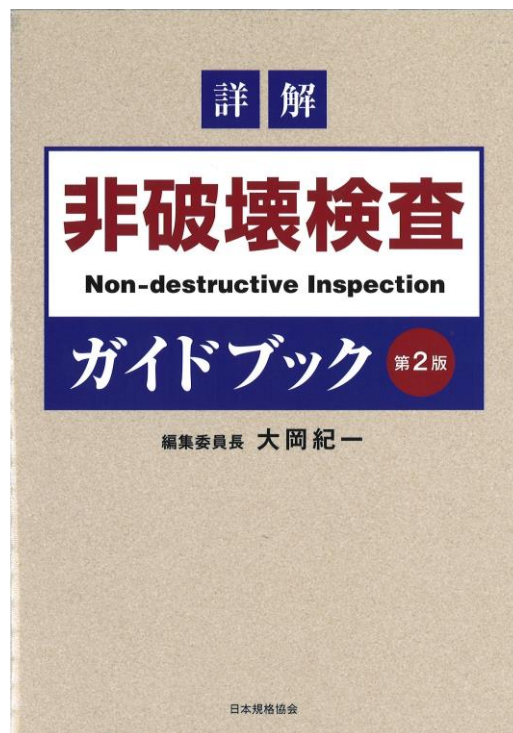
非破壊試験に関する各種規格は、我が国の工業標準化の中にあって社会資本のニーズに応じて不可欠なものとなっている。その中でも JIS (日本工業規格) は我が国の国家規格であり、国際標準である ISO 規格と、各種団体規格 (例えば日本非破壊検査協会規格である NDIS、あるいは日本溶接協会規格である WES) などの間に位置し、各種非破壊試験の工業分野へおける適用の上で極めて重要な規格である。我が国における工業標準の制定及び普及により工業標準化を促進することによって、鋳工業品の品質の改善、生産能率の増進その他生産の合理化、取引の単純公正化及び使用又は消費の合理化を図り、あわせて公共の福祉の増進に寄与すること“を目的とし、“工業標準化”を“鋳工業品に関する試験、分析、鑑定、検査、検定又は測定の方法に関する事項を全国的に統一し、又は単純化”することとしている。ここにおける“検査”は、ある製品が定められた規格、基準などに適合するかどうかを調べるための方法である。非破壊試験もこれに該当し、試験、検査の実施にあたっては“非破壊試験技術者一資格及び認証”を行うための制度を確立して、円滑な運用を行うことが求められている。そのためにも JIS として制定された各種の技術基準を、非破壊試験技術者は十分に理解しておくことが重要となる。

そのため、本書は「JIS ハンドブック 非破壊検査」と対をなす参考図書として JIS ハンドブックと関連性を持たせて、JIS で規定された事項の技術的な内容を

わかりやすく記述するとともに、非破壊試験技術に関係する横断的な技術との関係についてもわかりやすく解説した技術書である。JIS ハンドブックはあくまで JIS の集合体としての位置付けにとどめるのに対し、本書は JIS の規定事項、特に試験方法を実際に使用する場合の考え方、使用のポイントなどをわかりやすく解説することを目的としている。

以下に目次を示す。

- 第 1 章 用語及び略号
- 第 2 章 機器・構造物と非破壊試験
- 第 3 章 非破壊試験規格の解説と運用上の留意点
- 第 4 章 工業分野別の適用例
- 第 5 章 技術者の力量と組織への要求
- 第 6 章 各種 JIS に関する Q&A
- 第 7 章 国際規格及び主要海外規格一覧



書籍のご案内  
詳解 非破壊検査ガイドブック